



## とやま型学校評価（アクションプラン）について

～ 取組結果から見えてきたこと ～

【重点課題・数値目標・目標達成率】

H29.3.16

	重点課題	具体的な数値目標	目標達成率			学校評価
			1学期末	2学期末	年度末	
1	読書活動の推進	読書目標冊数(低学年 60 冊、中学年 45 冊、高学年 30 冊)を達成する子供が80%以上を目指す。 1学期の目標 低学年 20 冊、中学年 15 冊、高学年 10 冊 2学期の目標 低学年 25 冊、中学年 20 冊、高学年 15 冊 3学期の目標 低学年 15 冊、中学年 10 冊、高学年 5 冊	89 %	90 %	89 %	A
2	あいさつの推進	自分からあいさつできる子供、または、目を見てあいさつを返す子供が80%以上を目指す。 あいさつ週間に自己評価をし、「自分からあいさつできた、または、目を見てあいさつができた」の項目が8点以上	68 %	76 %	79 %	B
3	体力づくりの推進	毎日楽しく運動する子供が80%以上を目指す。 チャレンジ3015の、1学期 1560 ポイント、2学期 2700 ポイント、3学期 3015 ポイントを目指す。	82 %	83 %	100 %	A

(A…達成した B…ほぼ達成した C…あまり達成できなかった D…達成できなかった)

### <読書>

図書室に、新しい本の紹介コーナーを設け、新刊の表紙をコピーして掲示しました。どんな本が入ったのかが一目で分かるようにしたことで、子供たちの読書への興味を高めることができました。月曜以外の朝活動の時間には、全校一斉に静かに読書をしており、落ち着いた雰囲気の中で1日の学習を始めています。すき間時間にさっと本を出して読む子供も多く、読書が習慣化されてきています。朝読書では、漫画を禁止にしたことで、文章を読むことに苦手意識をもつ子供たちも文章を読むことに少しずつ慣れ、音読が上達してきたという子供もいました。今後は、読書量が増えてきている子供たちのために、図書室の本の冊数を増やす、2冊借りることができる貸し出しシステムを作るなど、子供たちの読書活動がさらに充実するようにしたいと思います。

### <あいさつ>

今年度も学期に1回あいさつ週間を設けました。町内児童会ごとにあいさつに立ったり、あいさつレンジャーを募集したりして、元気にあいさつができるよう取り組んできました。児童会で「あいさつ名人」を紹介したり、「あいさつ名人〇級」という認定証を出したりしたことで、あいさつ運動に進んで取り組んでいる子供が増えてきました。しかし、意識の高い子供と低い子供に分かれ、二極化していることが問題であると感じています。あいさつ運動期間は、元気なあいさつができますが、普段の生活でも自然にあいさつのできる子供たちを増やしていきたいと思います。地域や家庭とも連携の工夫を図りながら、「進んであいさつができる子供」を育てることができるよう引き続きあいさつ運動に取り組んでいきたいです。

### <運動>

ランランタイムで行っている運動には、一応の目標が示してありますが、スポーツテストの各種目学団1位の児童名を掲示したことで、さらに高い目標を目指して運動に取り組もうとする姿が見られました。また、スポーツ委員会による雨の日のランランタイムの運動メニューの紹介を行ったことで、より積極的に運動に取り組む姿が見られました。今年度のスポーツテストでは、シャトルランに落ち込みが見られました。3学期の冬期間は3分間走ができないので、子供たちの持久力を高めるために、縄跳びに取り組みました。2月16日、17日には、朝の集会で運動委員会が計画した「Pyon Pyon 大会」を開き、1～3年生は1分間、4～6年生は2分間前跳びをし続けることができた家族班ごとの人数を競いました。飛び続けることができた子供は、81人で、全校児童の半数を超えました。今後も、子供たちに不足している力を付けるために、各学年の目標を示したり、集会で競技会を開いて成果を披露する場を設けたりしていきたいです。